

2 年	通 年	数学Ⅱ	履修形態	全員履修（3修制）
			履修単位	2単位
科目目標			教科書	数Ⅱ331 改訂版 新高校の数学Ⅱ（数研出版）
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考え資 質・能力を身につける。			副教材等	ポイントノート数学Ⅱ （数研出版）
			履修条件	なし
学習内容				
2年次では、「複素数と方程式」・「図形と方程式」・「三角関数」・「指数関数・対数関数」を扱う。				
基礎的な学習を苦手とする 生徒への指導上の工夫等		1クラスを習熟度別に2つのグループに分けて授業を行い、すべての生徒に目が行き届くよう注意する。授 業時に小テストを行い、理解度の低い単元を重点的に復習しながら授業を進めていく。		
評価方法		定期考査、課題考査、提出物、授業態度、小テスト		

授業計画（学習内容・学習活動・ねらい及び評価のポイント）				
期	月	学習内容（単元名）	学習のねらい・目標	
前期	4	第1章 複素数と方程式 第1節 式の計算	・3次式の展開と因数分解の公式を利用できる ・分数式の計算（約分、倍分、通分、加減乗除）は数の計算と同じアルゴリズムであることを理解する	
	5	第2節 複素数と方程式	・複素数の加減乗除の計算に習熟する ・2次方程式が判別式が負のときも、解の公式を利用して解ける ・3次方程式を解く方法に習熟する	
	6	第3節 式と証明	・論理を使って推論ができることを知る ・数学的な性質が推論によって証明できることを理解する	
	7	第2章 図形と方程式 第1節 点と直線	・内分と外分を理解して図示できる ・直線の陰関数表示を理解する ・二直線が平行や直行する条件を理解する ・連立方程式を解くことで図形の交点の座標を求めることができることを理解する	
	9	第2節 円	・円の陰関数表示を理解する	
後期	10	第3章 三角関数	・角の概念を一般角にまで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解する。 ・三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。 ・三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解する。	
	11			
	12	第4章 指数関数・対数関数 第1節 指数関数	・指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をする。 ・指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。	
	1			
	2	第2節 対数関数	・対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をする。 ・対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。	
	3			
学習評価の観点別規準と評価方法				
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度・意欲
評価基準	系統的に整理された数学の基本的概念や原理・法則などについて理解し、それらを活用できる知識として身に付けている。 事象を数学的に考察する過程において、類推、帰納、演繹などの方法を身に付け、正確に表現できる。論理性や系統性を重視し、的確に問題を解決する。		数学の概念や原理・法則を考察する際、その着想や構造等を理解する。いろいろな事象を数学的にとらえるとともに、問題解決にあたり、多面的に考察し、分析・整理する。	数学的な見方や考え方のよさを認識し、知識・理解、表現・処理、創造性の基礎となる資質・能力及び数学的見方・考え方のすべてを活用し、主体的かつ意欲的に取り組もうとする。
評価方法	授業態度 考査の結果 提出物の内容		授業態度 考査の結果 提出物の内容	授業態度 考査の結果 提出物の内容
学習サポート				
テスト対策プリントで何度も復習すること。 テスト直前に対策補習を実施する。				